



# 会報

## WEEKLY REPORT

2022-23 R.I.会長

ジェニファーE. ジョーンズ  
第2500地区第6分区帯広北ロータリークラブ  
会長/木戸辰浩  
副会長/福田和彦  
幹事/及川悟

[四つのテスト]1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか

### 第3047回 例会報告

2022.9.16

●例会日/金曜日 (12:30~13:30)  
●例会場/ホテル日航ノースランド帯広  
●事務局/帯広市西3条南9丁目 帯広経済センタービル4F  
TEL 0155-25-7347

- 点鐘 木戸辰浩 会長
- ロータリーソング (我等の生業)
- 会長挨拶 木戸辰浩 会長



皆さん、こんにちは、今日はGEI (多様性・公平さ・インクルージョン) について少しお話をしたいなと思います。先月、うちの細川パストガバナーがですね。GEIについて分かりやすく説明をいただいております。

その中でちょっと私もですね少し喋りたいと思います。すでに多くのクラブがDEIのコミットメントを強化する活動を開始していると思います。この目的は地域社会に門戸を開き、これまで入会への障害があった、また入会の勧誘をされなかった人たちを仲間にする事でロータリーを支えるという我々のクラブだと考えております。

その中でクラブという基礎が組織を当然支えています。その中で真の意味で組織の文化を変えるにはクラブと会員の力が不可欠なのかなと考えております。

私たちの多くが事業主でもあります。その中で地域社会を反映させることが事業にもですね。有益であると理解しております。当然、ロータリーの方も有益になってると思います。まさに自分達にとっても会員やリーダーとして参加して心地よい環境で自由に意見を述べる機会を提供すると言うことで

それが多様性・公平・インクルーシブな文化を築く必要性があり新会員の勧誘だけでなく、現会員についても良く知り・対話をし・互いに尊敬の念を持った環境を作ることも大切です。

RI理事会はDEIへの強化としてクラブで何を提供するか、我々のリーダーシップがインクルージョンと公平さの文化と環境を形作りまずは対話の機会を持ちDEIの旅路へのコミットメントを示しましょう。

私たちは、それぞれDEIの理解という旅路において、異なるステージにいてDEIについての対話に、ためらいを持ち多様性・公平さ・インクルージョンという言葉の聞いただけで恐怖心を持つ人も入りかもしませんが私たちは世界的組織です。多様性はいたるところあります。「4つのテスト」を頭に浮かべてみてください。

最後に多様性は真実である・公平さは選択である・インクルージョンは行動である。

皆さんにこれを理解して頂き、少し頭にでも入れといていただければいいのかなと思います。

以上で会長挨拶致します。ありがとうございます

■会務報告 及川 悟 幹事

帯広北RC、9月23日(金)の例会は、休会と致します。

RI第2500地区大会(旭川)開催のご案内

日程 10月8日(土)~10月9日(日)

場所 旭川市民文化会館 他

■ニコニコボックスの発表 福田 和彦 副会長

・本日の担当例会です。

荒木 樹 会員

- ・誕生日に記念品を頂き有難うございます。  
細川 吉博 会員、稗貫 秀次 会員、松本 健春 会員
- プログラム 荒木 樹 国際奉仕委員長  
【会員卓話】 南出 雅樹 会員



皆さん、こんにちは。国際奉仕地区委員として4年間活動をしておりました。そして、当クラブでも4年ほど国際奉仕委員委員長をしておりました。その中で荒木委員長から北西方針について質問されたところ、まあこういうふうなものだよと言うことでお話ししたところ、ちょっと卓話してくれないかと言うことでお話しする運びとなりました。

まず、あのう数年前に細川パストガバナー公式訪問で、あのいろいろなクラブを回られてその時、私も地区副幹事として回らせて頂いて、その中でいろんなクラブのクラブ協議会を拝見させていただいたんですが、その当時私、あの国際奉仕の委員もやりましたので、クラブと地区の国際奉仕の違いっていうものが如何に、大きく違うのかというものにちょっと驚きを隠せない部分がありました。それはなぜかという、皆さんを国際奉仕委員会ですとか、いろんな委員会の委員長やられた方、当クラブのメンバーでたくさんいらっしゃると思うんですが、特にこの国際奉仕っていうのはちょっと特殊なもので何をやっていいのかかわからないと言うことで皆さん、委員長になられた方は頭を悩まれたこと、経験されたことがあるかと思ひます。今まで私は北クラブでもう15年在籍させていただいているんですが、あの私の今までの経験の国際奉仕の例会と言うとJAICの方、職員の方を呼んだりとかJAICに行ったりとか、世界で活動されている方のお話を聞くと言うのは例会が多数あったかと思ひます。ただですね、あの地区になりますと地区の国際奉仕というのは恵まれない発展途上国に何かロータリアンとしてできないものかと言うものを探して行動するというのが、地区の委員の役割というふうに教わりました。そのためにクラブ協議会ではいろんな方、講師を読んで話す、ただ、地区の方では行動を移す、海外に行つて行動を移すと言う。大きな隔たりがありました。これは何かなぜなのかということは、実は国際奉仕地区委員会の中では各クラブですね。各クラブから恵まれない発展途上国のところのクラブに地区に何かをプレゼント、何かを報酬をしたいという要望が上がつて初めて地区委員会の方で動くと言うような流れになっております。

えーその要望ですが、ちょっとこれがまた面倒くさいものがございまして実は何かを当クラブで、もし何かをやるうと思つた時にマッチンググラウンドと言ひまして、どこかほかの地区のですね、私ども2500地区ですが、2470地区のどここのクラブと連絡を取り合つて、どこの国にどこかの国に何かをしてあげると井戸を掘るとか水道を付けるとか、そういうような行動活動すると言う部分をまず模索しなければならない。ですから、ほかの私の方はやるうと思つても、ほかのクラブを探るところから始まるというのがとっかかりになります。さらにですね、その取っ掛かりがもし出来たとしてもロータリーをですね。Riの方に英語で作文、こういうことをや



りますよという作文を書かなければならないと。え？そのためガバナーの承認を得ながら世界の方に行って承認を得て初めて活動ができるよとまあ、地区のですね、財源を使って活動できると言うような流れになっております。その流れを踏まえると、最低でも半年以上下手したら一年半かかるような事業となってしまいます。ですので、あの委員長の当クラブでは一年が任期ですので、次の会長の下の次の国際奉仕委員長がその事業を引き継いでやらなければならないと言うような難しさになっております。ですので、その部分が本当の地区からの要望である何かをしたんだけど、開けてくれという要望に応えられない理由かなと私はそのように感じました。

そして実際に私もネパールとシンガポールのバリに行きました。その国際奉仕の地区委員をやっているときに今までの例として同じようにバリ島の小さな島の小さな村に井戸を掘ったと言うようなことを伺いまして、そこに見に行こうかという話で行ったのですが、実際は全く違うものでした。

やはりその一年半近くかかるということで、だいぶ前に話が進んでいたバリ島の小学校の児童にメガネのフレームを送ると言うことで鯖江市のメガネフレームの有名な鯖江市とのマッチンググラウンドでメガネのフレームを送ると言うことはいつの間にか決まっていたと言うような現状で地区の委員である私の耳とほかの委員にも耳にも入ってなかったと言う現状でした。それはあのやはり日数がかかりかかるという現実で仕方がないのかなという部分がありますが、なかなかこうきちと機能がしてないというものも現実にあると思います。そしてさらにですね。やはり私ども日本人というのは、何か誰かに何か奉仕をしてあげたいという気持ちが強い民族だと、そのように強く思っておりますあの。なぜなら、ほかの海外に行くとか何かプレゼントする時に待ってましたという感じで、向こうでも本当にプレゼントを待っているような感じなんですか？向こうにもロータリアンがいて、それなりに奉仕活動しているはずなんですけど待ってましたと言うような感じで話をされたときに、これは何なんだろうというふうにしてよくよく聴いてみると私たちがマッチンググラウンドで海外の貧しい国にプレゼントしよう、奉仕をしようと思って持って行くとか全部手柄なっていたんですけど、そういうものが全部向こうのロータリアンのものになっていると、私たちはただ遠くで眺めているという現実になっているというのも一つ実際にあった話でございます。そして他のある国のある村に井戸を掘って水道の蛇口を付けたそうです。ただ、その管理をするのが、その国の地域のロータリアンで蛇口の栓を持って行ってしまった、で蛇口の栓を持って行ったら、本当は地元の住民の方に使ってもらはずの水道をですね。使えないとね。そのロータリアンに話を持っていて、お金を出さなければその蛇口で水道を使えないと言うようなお金儲けの道具に使われてしまっているというのも一つ現状にあったそうです。ですので海外の方と私ども日本人との大きな違いというのは、海外の方々は私たちの善意を利用するってことがあるんですけど、ずっと中にはそういう方ももちろん真っ当にやってくれる方もいらっしゃるんですけど、そういうちょっと心無い寂しい方もいらっしゃるというのも現実でございます。そして、私たちは地区の方から地区委員にさせていただいて、すごく勉強になったのは、あのロータリーとはどういうものかというのを本当にあの地区の会議の中で、地区委

員会会議の中で勉強させていただきました。そして今ここにロータリー財団の工藤委員長もいらっしゃいますが、あの本当に財団に関して勉強されているっていうのも、あのなかなかいろんな方に学んでもらいたいという部分は正直あります。地区の委員っていうのがちょっとこれ悪い慣習だと思うんですが一度なると、結構違うところの委員長になったりとかグルグルグルグル同じメンバーで回っているというのが現実であります、なかなかあの私がポツと入って勉強させていただいたんですが、あの新しい方が地区の方に意向とすることが正しいかどうかかわからないですが、新しい方が地区の方に行って勉強代のことを勉強して、どういう活動を2500地区でしているのかと言うものを学ぶ機会がなかなかないと言うのが、現実現状でございます。ですので、もし地区の方からガバナー次第だと思うんですが地区の方からこういう方は誰か居らっしゃらないですか？っていう時はもし会長から白羽の矢もしくはガバナーから白羽の矢が立った時は、受けていただければ、皆さんの為になるのでないかなというように思います。私も国際奉仕の地区委員やった時に次年度カバナエレクトロである鶴見ガバナーエレクトですと海外を一緒に視察に行かさせていただいて、そこであの人脈と言いますかそこで仲良くさせていただいて、今でも個人的にお付き合いをさせていただいていると言うものがあります。ですので、そういう地区のほかのクラブのメンバーの方とも仲良くなりますので、そこでまた見識と親睦友情を踏まえて、いろんなこれからのロータリー活動に生きているのではないかなとそのように思います。そして前年度、家内会員がこの場所で卓話をしていただいたんですがその時に地区のお金について説明があったかと思っております。私どものその国際奉仕で、お金が予算が使われなかった場合、財団の委員長である工藤会員が一番わかるかと思うんですが、あの本部の方に持っていかれてしまうと言う部分で、あのうできるだけ地区の方で集めたお金は地区で使いましょうと言うものが目指すところであると思うんですが、なかなか使われてないっていうのが一つ現状なので、皆さんのお知恵とですね力を借りて地区の方に提言をして、マッチンググラウンドで国際奉仕につなげていければなどそのように思っております。ええ、ちょっと早口ですね。あの聞きづらい点があったかと思うん。ですが、やはり私はあの4年間地区委員をやっていたら、本当に楽しかった部分もあります。そして心折れそうになった部分もあります。海外に行ってですね。いろんな女性を見るっていうのが最初、あのやましい気持ちで行ったんですけど、最後4年目に終わるときには、あの世界の子供たちのために何ができないことないかなと言うような部分の気持ちでいっぱいになりました。ロータリアンの奉仕のええまあ、先ほどあの会長も言いましたが、四つのテスト真実かどうかみんな公平かというのがありますが、海外ではなかなかその四つのテストが生かされていないと。日本人だからこそ、四つのテストを心に刻んで活動しているものなのかなとそのように思っております。ええ今年度、荒木委員長が国際奉仕ですが、次年度石岡会長エレクトがどのように国際奉仕委員長を決めるかはまだわかりませんが、国際奉仕についてマッチングできて、そして今年度インターアクトのように何かできれば授業ができればいいなと。私は陰ながら応援したいと思っております。ちょっと時間が早いですが私の国際奉仕に対するお話は以上とさせていただきます。ご静聴ありがとうございます。

■次週のプログラム予定

「休会」

■閉会宣言

■点鐘

木戸 辰浩 会長

例会案内

〈月曜日〉 広尾RC:日高信金広尾支店 帯広南RC:北海道ホテル  
〈火曜日〉 芽室RC:めむろーどセミナー 帯広東RC:ホテル日航ノースランド

〈水曜日〉 帯広RC:ホテル日航ノースランド 上士幌RC:川村福祉会館  
音更RC:ハビオ木野

〈木曜日〉 足寄RC:足寄銀河ホール21 清水RC:清水町中央公民館  
帯広西RC:北海道ホテル

■出席報告/窪田 篤弘 出席委員長

会員数	計算に用いる 会員数	ホームクラブ 出席数	メークアップ	欠席	出席率
62	56	30			46.38%